

検査場所の出口において 安定ヨウ素剤を配布します。

こちらを事前にご確認ください。

受領後、**直ちに服用**してください

今後の情報に注意し、**服用指示が出てから、服用**してください。

※ 安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素による甲状腺の内部被曝を予防又は低減する効果がある医薬品です。ただし、お渡しできない場合もあります。

① 安定ヨウ素剤の成分、又はヨウ素に対して**過敏症（アレルギー）の既往歴**がある方はいますか。（※ 安定ヨウ素剤の成分は裏面参照）

↓ いない

↓ いる

② 次の症状を有する方又は既往歴のある方はいますか。

ヨード造影剤過敏症の既往歴、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、腎機能障害、先天性筋強直症、高カリウム血症、低補体血症性蕁麻疹様血管炎の既往歴、ジューリング疱疹状皮膚炎の既往歴、肺結核

既往歴のある方には安定ヨウ素剤をお渡しできません。
通過証を受け取り、避難を続けてください。

↓ いる

↓ いない

③ 安定ヨウ素剤のヨウ素含有量は微量であり、服用で副作用が生じる可能性は極めて低いとされています。安定ヨウ素剤の副作用のリスクよりも、服用しないことによる甲状腺被ばくのリスクの方が大きいとされていますが、**配布を希望されますか。**

↓ 希望する

↓ 希望しない

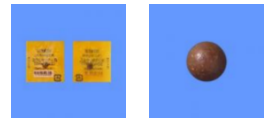
安定ヨウ素剤をお渡しします。
係員に年齢区分と人数をお知らせください

通過証を受け取り、避難を続けてください。

<年齢区分ごとの剤型（規格）及び服用量>

年齢区分	剤型（規格）	服用量	乗車人数
13歳以上	丸剤	2丸	
3歳以上13歳未満	丸剤	1丸	
1か月以上3歳未満	ゼリー剤32.5mg	1包	
生後1か月まで	ゼリー剤16.3mg	1包	

【丸剤】



【ゼリー剤32.5mg】



【ゼリー剤16.3mg】



※ 服用回数は1回のみです。必ず指示に従って服用してください。

※ 安定ヨウ素剤の服用について薬剤師への質問・相談を希望される方は申し出てください。

※ 服用指示は、テレビ、ラジオ、緊急速報メール、原子力災害避難支援アプリなどでお知らせしますので、その時点で服用ください。服用のタイミングが合わないと効果が期待できません。

※ 服用後に体調不良等の症状が出た場合は、下記まで連絡願います。

連絡先：宮城県薬務課（022-211-2652）、各市町防災担当課

安定ヨウ素剤の成分

◇ 丸剤

ヨウ化カリウム、カンゾウ末、センブリ末、トウモロコシデンプン、グリセリン、セラック

◇ ゼリー剤

ヨウ化カリウム、カラギーナン、カロブビーンガム、ポリアクリル酸ナトリウム、グリセリン、D-ソルビトール、サッカリンナトリウム水和物、クエン酸ナトリウム水和物、クエン酸水和物、パラオキシ安息香酸プロピル、香料

副作用

※ **安定ヨウ素剤の服用により副作用が生じる可能性は極めて低いですが、服用後に下記の症状が出た場合は、自治体職員や医師・薬剤師に相談してください。**

◇ 過敏症（アレルギー）

・発疹 など

◇ 消化器系の症状

・悪心・嘔吐、胃痛、下痢、口腔・咽喉の灼熱感、金属味覚、歯痛、歯肉痛、血便（消化管出血） など

◇ その他の症状

・甲状腺機能低下症、頭痛、息切れ、かぜ症状、不規則性心拍、皮疹、原因不明の発熱、首・咽喉の腫脹 など

未成年・妊娠している方・授乳中の方

※ **乳幼児を含む未成年者や妊娠している方、授乳中の方は服用を優先すべき対象者です。**

◇ 年齢が低いほど放射性ヨウ素による内部被ばくのリスクが高くなります。

◇ 副作用のリスクよりも、服用しないことによるリスクの方が大きいとされています。

◇ ゼリー剤を直接、服用するのが難しい場合は、少量のお湯に溶かして服用してください。

◇ **新生児や妊娠している方は、服用後の経過観察が必要**となります。避難先で、医師等にご相談ください。

◇ 安定ヨウ素剤服用後は、できる限り授乳を避けてください。断乳できない場合は、避難先の自治体職員にご相談下さい。